

(前頁から続く) 重いのに5^キも買い求めた。
 ペルーは「日系社会訪問」のコース。19世紀末、豊かな未来を夢見て多くの移民が渡り、厳しい労働に耐え、祖国に帰ることもなく大地に骨を埋めた人も多いと聞く。リマの日系人グループの案内で、バス1台でどこまでも続く灰色の砂漠。ポタ山のような重なり合う山々、麓に椰子で編んだ小屋のような民家。その奥にひっそりと建つ移民1世の墓、千羽鶴と花・線香を供えて泣いた。

なもてなしを受け感動した。翌日ガビさんの山畑へバナナ、タロイモ、カボチャの収穫の手伝いをする。帰りには土産まで頂いて村人との別れを惜しんだ。
 スエズ運河、パナマ運河のスケールに驚き、ハワイでは米軍基地やアリゾナ記念館を見学した。波が荒れる日、快晴の時の海の色、目の下を鯨が通り過ぎたこと、多くの貴重な体験をして、アツという間の105日だった。六甲山が見えたときは、思わず感泣してしまった。



一泊した家のパパさんと(タヒチ島にて)

次にタヒチ島。自給自足で平和な暮らしをしていた島を19世紀末に、フランスに支配下に置かれ、古くからの伝統や文化農業、漁業も取り上げられた。その上200回にも及ぶ原爆実験で、平和な島の生活が失われそうになったので、島民のマオヒ族は主権回復を目指して「いま立ち上がる時」と全世界に抗議行動を展開しています。

その先住民の村へ、バス1台40名で訪問し交流しました。聖なる焚き火を囲みながら、島民のガビさんの熱い思いを通訳を通して聞き、夜は民族舞踊を鑑賞、お返しに炭坑節を披露しました。その夜は民家に3名ずつ分宿し、私は2人のこどものいる家で、大変

ミュージック・ベル
演奏で全国3位に
 わ文化部長の垣尾一士氏が指導している「デイサービス塩北」が16年度全国ミュージックベル合奏コンテストの高齢者施設の部で見事、銅賞を受賞しました。
 塩北(塩屋北の略)チームは、ミュージックベルを中心にピアノ、ギター、トーンチャイムで演奏練習をしています。毎年、舞子ピラで開かれる全国大会に参加しています。会員たちは音楽はもちろん踊り、健康問題にも取り組んでいます。今回の受賞曲はアロハオエで、次回は金賞を狙いたいと張り切っています。

グループ紹介

クッキーの会

森岡典子



阪神大震災のあと、1期生の方々がしあわせの村内にあった復興住宅の被災者に、自作のクッキーを添えて喫茶サービスを続けておられた。このようなボランティアもあると感動し、平成8年秋に私たちの「クッキーの会」を創設しました。

以後、毎月1回欠かさず復興住宅、地域の高齢者、心身障害者作業所の皆さんにクッキーを贈り続けて、大変喜んで頂いています。回を重ねるごとに心温まる交流が芽生える等が、9年近くも続けてこられた活力源になっているように思います。

8月下旬には、作業所の皆さんをお招きして、会員一同とともにクッキー焼きの楽しい1日を予定しております。

映画「THWAY 血の絆」
 完成試写会 in KOBE
 とき 8月14日(日)
 13:00~16:00
 ところ 長田区ビブレホール
 入場料 大人 2,000円、
 学生 1,500円

概要 ミャンマーの女流作家ジャーネージョ・ママレのベストセラーを、14年の歳月をかけて映画化した。太平洋戦争中、ビルマ戦役で何が起きたかを、日本・ミャンマー合作の超大作映画である。

ミャンマーの美しい自然と風土、人々の優しさを背景に、人類や文化を越えた「人間愛」の尊さを訴えている。

主催 神戸ミャンマー皆好会

一寸奉仕
 (大道芸サークル)

「幸せ」って何でしょう。「幸せ」は私達のすぐ傍にたくさんあります。それは考え方とか、思い遣りの心だと思います。そんな小さな「幸せ」を大道芸に託して人々との触れ合いが、私達自身の人・物を思う心をつくります。また芸を磨くことが出来ると思い、活動をしていきたいと思っています。

「ありがとう」の言葉といっしょに。 **増金 スミ子**

(967 4038)

